

万が一の交通事故で子どもを守る大切な命綱です

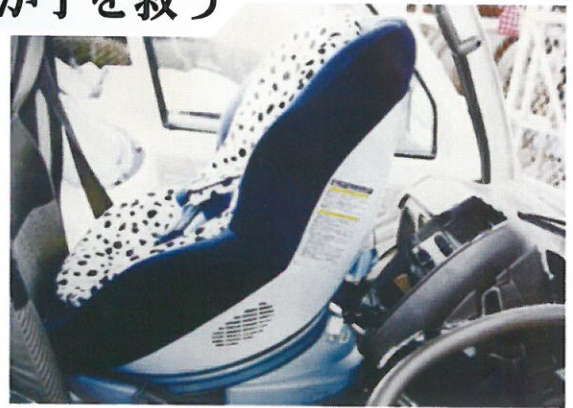


車に乗せる時は



チャイルドシート

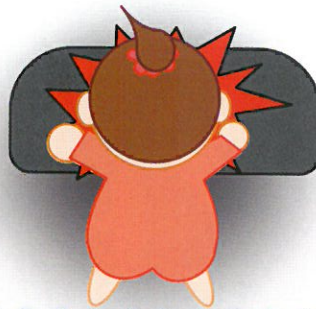
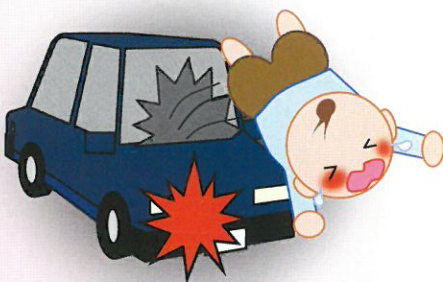
母の愛情が我が子を救う



この事故は、居眠り運転で中央線をはみ出してきた対向車が、軽自動車に衝突した事故で、チャイルドシートを使用していた生後6ヶ月の乳児は無傷でした。

10kgの子供が、衝突時には300kgにもなる！

万が一の時、あなたが抱っこしているお子さんをあなたは守ることができるのでしょうか？
その答えはNOです。時速40kmで走っている時に衝突した場合、体重10kgの子供は、300kg相当となり、**車外に飛び出したり、ダッシュボード等に激しくぶつかったり、特に抱っこした状態で運転をすると、ハンドルとの間で押しつぶされることになる場合があります。**



チャイルドシートは子供の体格にあったものを、その成長に合わせて選びましょう。



乳児用シート



幼児用シート



学童用シート

6歳未満の幼児にチャイルドシートを使用させないで運転した場合



**違反点数
1点**

沖縄県警察

チャイルドシートは正しく使いましょう。

せっかくチャイルドシートを付けても、その取り付け方法や使用方法が誤っていると、その効果を発揮しません。



チャイルドシートのぐらつき

チャイルドシートの上部を引っ張って3cm以上動いたら、もう一度しっかりと締め付けて下さい。正しく取り付けなければ、その性能を発揮できません。



チャイルドシートでベルト未使用

チャイルドシートを正しく取り付けていてもベルトを締めず、そのまま着座させているだけでは、子供は守れません。



前席には取り付けない

後ろ向きで使用するチャイルドシートは事故の衝撃でエアバッグが膨らんだとき、瞬間的にはね飛ばされ、子供に重大な傷害を与える場合があります。

子供を上手にチャイルドシートに座らせるコツは



チャイルドシートは自分専用のイスだと覚えさせる！

OK!



チャイルドシートに座るまで発進しない！



座ったらほめてあげる！



歌や遊べて楽しく！



ドライブ中はこまめに休んで！



降りるときもほめてあげる！